

【黄熱ワクチンに関する説明書】

名古屋検疫所 中部空港検疫所支所

黄熱（おうねつ）は、アフリカ及び中南米の国々で発生している重い感染症です。黄熱ウイルスをもった蚊に刺されることによって感染しますが、蚊よけ対策と黄熱ワクチン接種で予防することができます。

世界の一部の国・地域では入国・入域時に、黄熱ワクチンを接種済みであることを証明する「黄熱予防接種国際証明書」（通称：イエローカード）の提示を要求されます。また、国際証明書は要求されなくとも、黄熱が発生する国・地域へ渡航される場合には、黄熱ワクチンの接種が推奨されます。

○ 黄熱ワクチンとは

病気を起こさない程度に病原性を弱めた黄熱ウイルスを用いてワクチンを作っています（弱毒生ワクチン）。黄熱ワクチン液 0.5ml を皮下に注射します。1回の接種で、生涯にわたって免疫が得られると考えられています。

○ 接種後に起きる反応について

▶ 副反応

接種から数日以内に、10人あたり1人程度に、次のような副反応が出ることがあります。

接種部位の発赤、腫れ、痛み
頭痛、発熱、筋肉痛、背部痛、関節痛、全身倦怠感、発疹

これらの症状の原因が予防接種であれば、身体に免疫がつく過程で起きている正常な反応であり通常2～3日中におさまります。日常生活に影響がなければ経過をみていただいて結構です。

ただし、予防接種が原因ではない場合もありますので、症状が続いたり日常生活に影響が出る場合には、お近くの医療機関を受診し、黄熱の予防接種を受けたことを医師に伝えてください。

▶ 重い副反応

- ・ アナフィラキシーショック

接種後30分以内に起きる強い副反応で、じんましん、息苦しさ、嘔吐および血圧低下などの症状が10万人あたり1人程度に起きるとされています。

このため接種から30分間は待合室で待機いただくことになっております。

- ・ 神経障害、内臓障害

接種から1か月以内に、10万人中数人程度に重い副反応が起こることが知られています。38度以上の高熱が続いたり、けいれんなどが起きた際には、速やかに医療機関を受診し医師の診察を受けるとともに、当検疫所へご連絡ください。

○ 女性の方へ

- ▶ 妊娠中の接種に関する安全性は確立していないため、接種後2か月間は妊娠を避けるようにください。
- ▶ また、接種後の授乳による乳児への安全性は確立しておりません。ご不明の点は接種医に相談してください。なお、母児同時接種の場合は、授乳継続していただけます。

保護者の方へ

別紙「黄熱ワクチンに関する説明書」をお読みいただき、黄熱ワクチン予防接種に同意される場合は上記にご署名等のご記載をお願いいたします。

保護者同意書

中部空港検疫所支所長 殿

私は、西暦____年 月 日に 氏名_____ (____ 歳)
が黄熱の予防接種を受けるにあたり、保護者として「黄熱ワクチンに関する説明書」の内容を確認し、効果及び副反応の可能性について十分理解した上で、上記の者への黄熱ワクチン接種に同意いたします。

西暦____年 月 日

【保護者】

住所_____

緊急連絡先電話番号_____

保護者署名 _____ (被接種者に
対する保護
者の続柄)

【予防接種を受ける者】

住所_____

本人署名_____

保護者の方へ

別紙「黄熱ワクチンに関する説明書」をお読みいただき、黄熱ワクチン予防接種に同意される場合は上記にご署名等のご記載をお願いいたします。

保護者同意書**見本**

中部空港検疫所支所長 殿

私は、西暦____年 月 日に 氏名_____（ ____歳）
が黄熱の予防接種を受けるにあたり、保護者として「黄熱ワクチンに関する説明書」の内容を確認し、効果及び副反応の可能性について十分理解した上で、上記の者への黄熱ワクチン接種に同意いたします。

西暦____年 月 日

【保護者】**接種日当日の日付**をご記入ください

住所_____

緊急連絡先電話番号_____

保護者署名_____

被接種者に対する保護者（
者の続柄 _____）**保護者の自署**が必須です。**接種日当日に連絡の
つく電話番号**をご記入
ください**【予防接種を受ける者】**

住所_____

本人署名_____

本人の自署が必須です。